



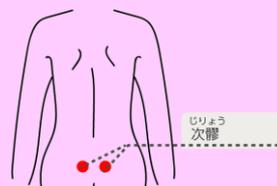
令和元年度

県内助産師のネットワーク作りとキャリアアップをはかる事業

本事業は、県内の助産師活動の連携や相互の浸透を図る助産師のネットワーク作りと、助産師活動をさらに活性化することを目的として、講義にグループワークや実技を組み込んだ研修会を開催しています。本年度第1回目の研修会を6月1日(土)に開催しました。

<テーマ> 助産力を高めよう！ 東洋医学の視点から捉える、より良いお産・子育てに向けての妊婦のケア

講師：林朋恵先生(助産師・鍼灸師) 洞峰パーク鍼灸院-つくば国際鍼灸研究所



じりょう
次髎のツボ

探し方のコツ
を説明

せっしん
切診：腹部触診

に相当する診方
の違いについて
説明



<研修会の様子>

研修会に59名の参加がありました。アンケートを提出頂いた56名の方々の内訳は、病院診療所勤務の助産師看護師30名、助産所勤務及び地域活動の助産師17名、教育機関から5名、他4名でした。東洋医学の特色として<自然と人体は一体としてとらえ、自然との共生を重視するエコロジーの医学 他>や、五行論<自然界は全て5つの基本的要素《木・火・土・金・水》で理解しようとしており、それらの属性に還元できる 他>という考え方、六臓六腑の機能、などなど東洋医学の基本のキを学び、演習をおこないました。

<研修会のアンケートから>

「ツボが自分の思っていたところとは少し違っており修正ができた。」「三陰交への指圧が分娩時間の短縮に有意との研究結果を知り、もっと活用していこうと思った。」「マイナートラブルを抱えた妊産褥婦へのアプローチには様々な方法があるとわかり、選択できるのはとてもいい」など、今後の助産師活動につながる研修会となりました。

県立看護大学「助産師の仕事研究会」と宮崎県助産師会 協働研修会

